

# 大動脈緊急症（腹部大動脈瘤） 治療と予防

## 大動脈緊急症 とは

- 大動脈瘤破裂（腹部、胸部）
- 急性大動脈解離（破裂、臓器虚血ある症例など）
- 外傷性大動脈損傷
- 大動脈気管支瘻・腸管瘻等の他臓器への穿通など



# 大動脈緊急症の治療

## ① 破裂前に手術（救命率99%）

早期診断とリスク因子の排除

## ② 破裂してしまった場合

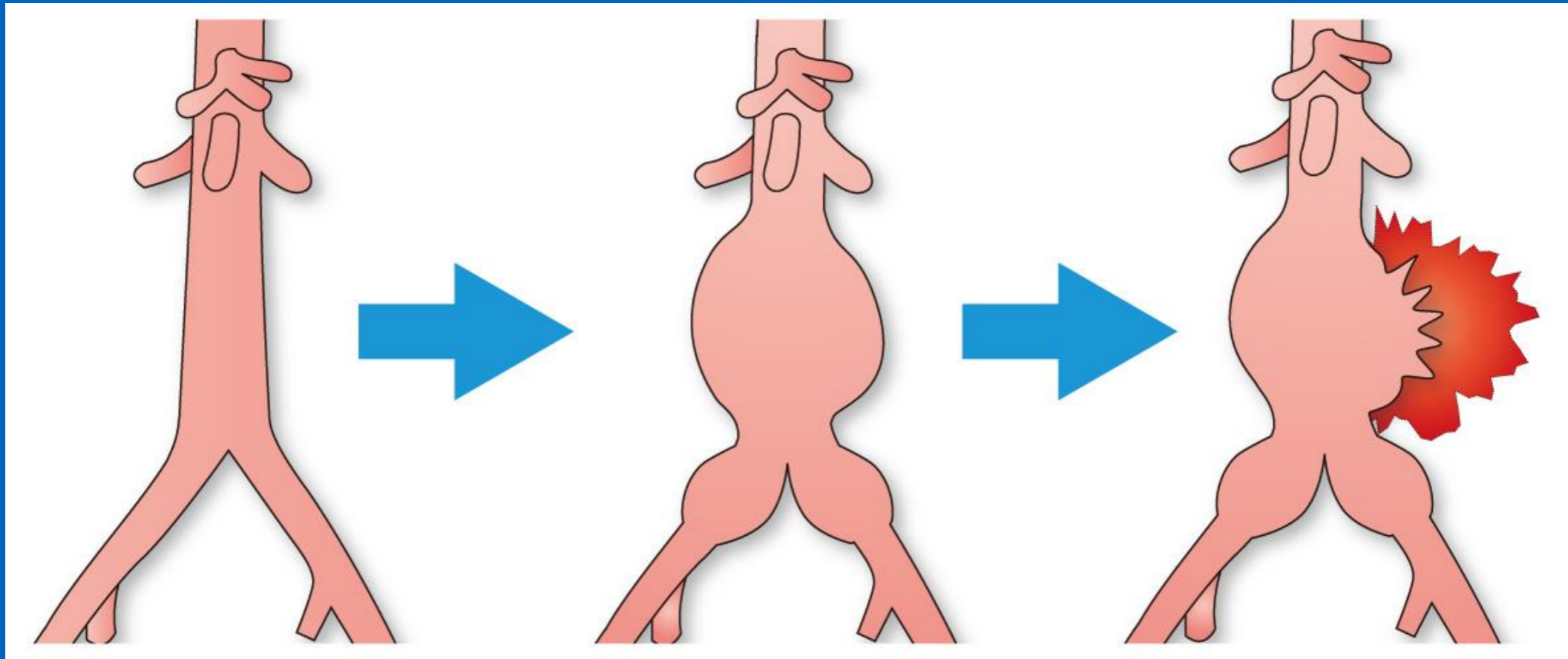
病院に生きて搬送できれば

救命のために緊急手術

1時間以内に止血しないと救命困難



# 腹部大動脈瘤の治療方針



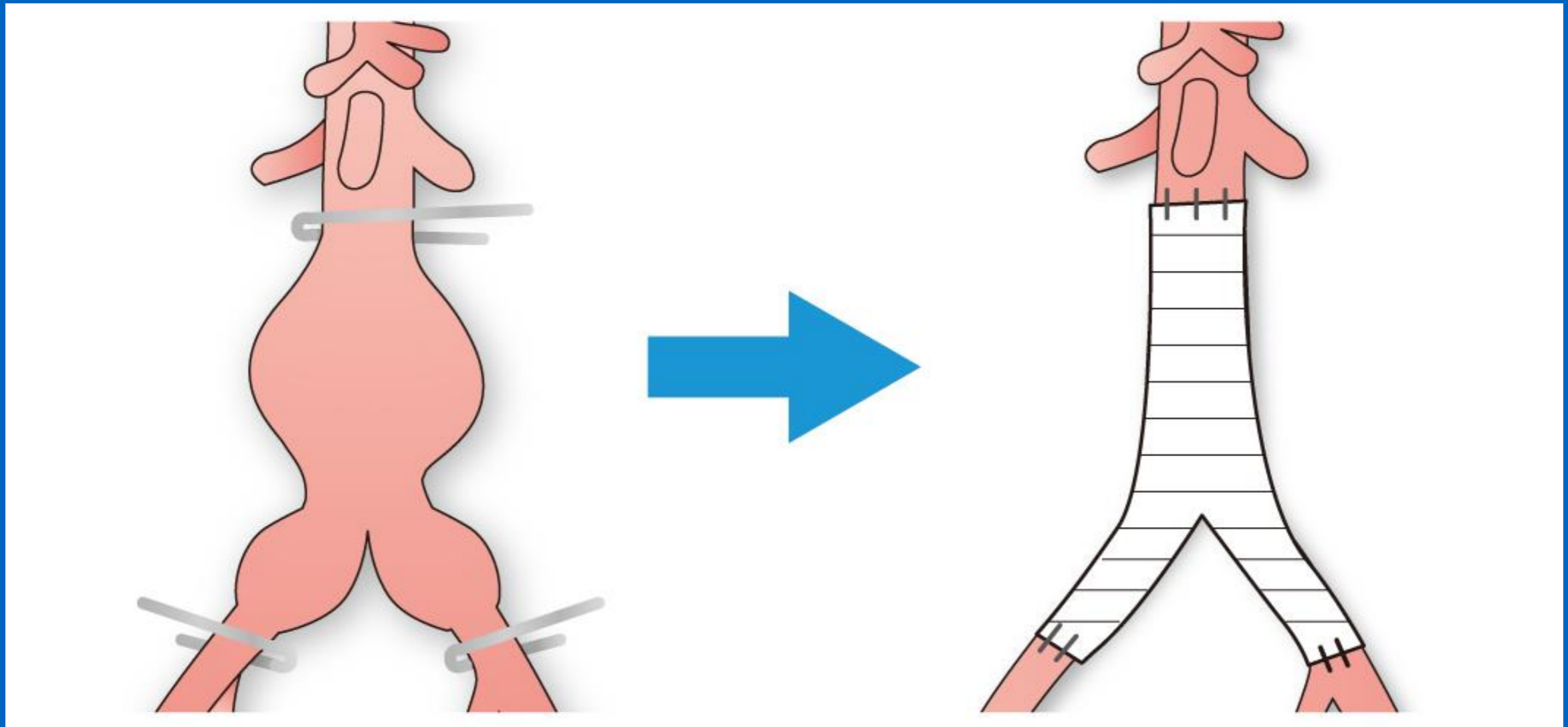
腹部の血管は2 cm程度  
破裂前に自覚症状なし  
5 ~ 6 cmを超えると破裂の危険

治療の原則：破裂前に手術



# 手術方法 1

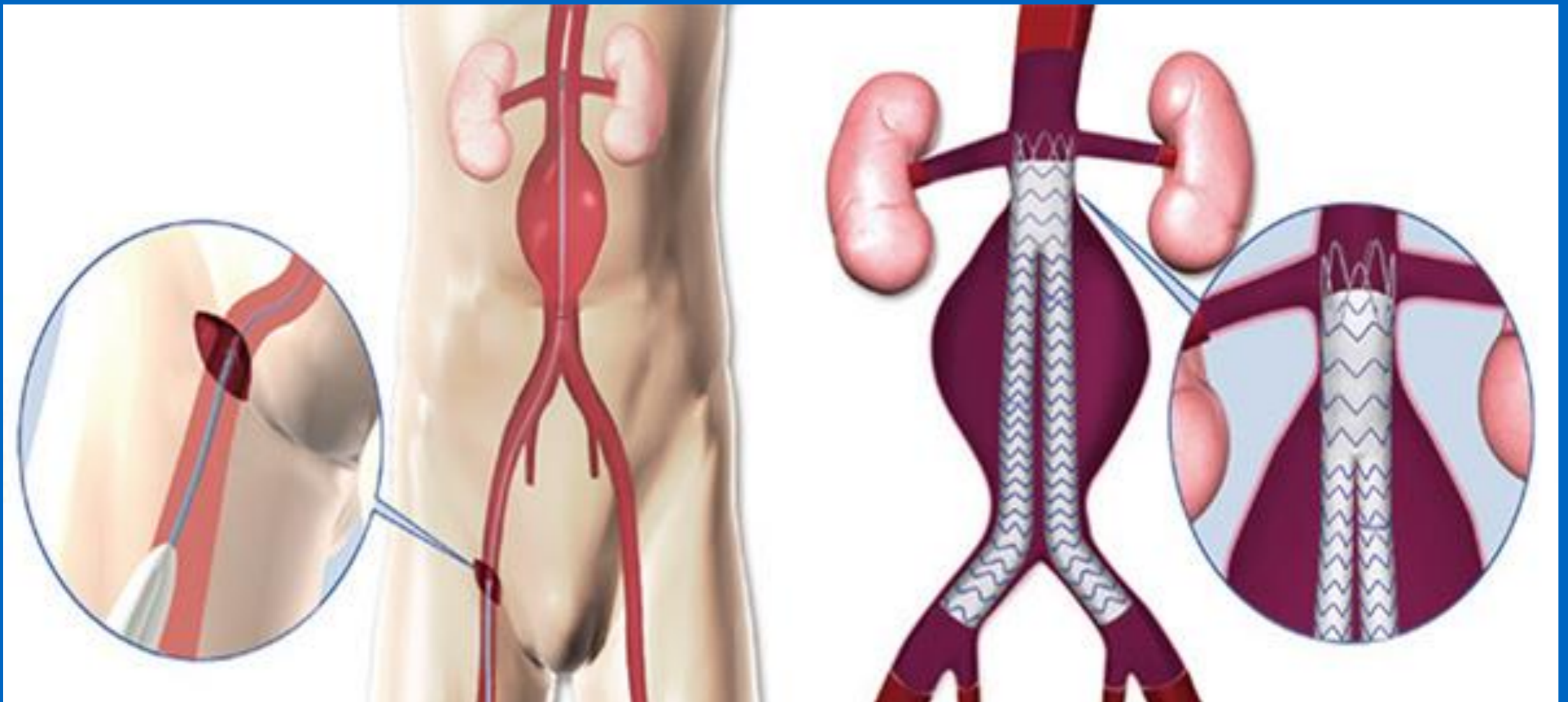
## ★開腹手術（人工血管置換術）





## 手術方法 2

### ★開腹しない ステンントグラフト手術 (カテーテル治療)





# 大動脈緊急症の予防

## ① 禁煙



紙タバコ・葉巻・  
電子タバコなどの  
全てのタバコ類の禁煙

## ② 肥満解消

糖尿病、高血圧、高脂血症の治療  
肥満⇒睡眠時無呼吸  
(大動脈緊急症の危険因子)





# 大動脈緊急症の破裂前診断

胸部大動脈瘤：  
胸部X線検査で縦隔腫瘍影

腹部大動脈瘤：  
触診で拍動性腫瘍あり



お気軽にご相談ください  
⇒ 専門医による診断、治療方針決定